

汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則 (変更履歴付き)	汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則 (整形版)	備考
<p>社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター 公開: 2000年11月 2日 改訂: 2002年 2月 1日</p> <p>株式会社日本レジストリサービス 改訂: 2003年 3月10日 改訂: 2003年 7月 2日 改訂: 2004年 8月17日 改訂: 2005年 8月30日 改訂: 2005年12月 5日 改訂: 2010年 8月12日 改訂: 2010年11月16日 改訂: 2012年 5月16日 改訂: 2013年11月12日 実施: 2013年11月12日 <u>改訂: 2019年 7月18日</u> <u>実施: 2019年 9月19日</u></p> <p>汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則</p> <p>目次</p> <p><u>0. はじめに</u></p> <p>1. 登録可能な汎用JPドメイン名の文字種別と文字列</p> <p>2. 汎用JPドメイン名の構成</p> <p>3. 申請文字列の正規化</p> <p>4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング</p> <p>5. 汎用JPドメイン名に設定可能な署名鍵の形式</p> <p>6. 制限事項</p> <p>6.1 ネームサーバホスト名における制限事項</p> <p>6.2 電子メールアドレスにおける制限事項</p> <p>6.3 URIにおける制限事項</p> <p>6.4 署名鍵における制限事項</p> <p>7. 予約ドメイン名</p> <p>付録1 互換用文字</p> <p>付録2 正規化における文字置換の方式</p> <p>付録3 正規化における文字合成の方式</p> <p>付録4 日本語文字一覧</p>	<p>社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター 公開: 2000年11月 2日 改訂: 2002年 2月 1日</p> <p>株式会社日本レジストリサービス 改訂: 2003年 3月10日 改訂: 2003年 7月 2日 改訂: 2004年 8月17日 改訂: 2005年 8月30日 改訂: 2005年12月 5日 改訂: 2010年 8月12日 改訂: 2010年11月16日 改訂: 2012年 5月16日 改訂: 2013年11月12日</p> <p>汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則</p> <p>目次</p> <p>0. はじめに</p> <p>1. 登録可能な汎用JPドメイン名の文字種別と文字列</p> <p>2. 汎用JPドメイン名の構成</p> <p>3. 申請文字列の正規化</p> <p>4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング</p> <p>5. 汎用JPドメイン名に設定可能な署名鍵の形式</p> <p>6. 制限事項</p> <p>6.1 ネームサーバホスト名における制限事項</p> <p>6.2 電子メールアドレスにおける制限事項</p> <p>6.3 URIにおける制限事項</p> <p>6.4 署名鍵における制限事項</p> <p>7. 予約ドメイン名</p> <p>付録1 互換用文字</p> <p>付録2 正規化における文字置換の方式</p> <p>付録3 正規化における文字合成の方式</p> <p>付録4 日本語文字一覧</p>	<p>凡例: <u>赤字 (下線付き)</u> : 追加 青字 (取消線付き) : 削除</p> <p>改訂日・実施日を記載</p> <p>目次を追加</p>

汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（変更履歴付き）	汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
<p>付録5 ABNFによる汎用JPドメイン名の定義</p> <p><u>0. はじめに</u></p> <p><u>本技術細則では、「汎用JPドメイン名登録等に関する規則」第3条第2項に基づいて、汎用JPドメイン名に関する技術上の要件を定める。</u></p> <p>1. 登録可能な汎用JPドメイン名の文字種別と文字列</p> <p>汎用JPドメイン名における文字種別と文字列を以下に規定する。</p> <p>「ドメイン名」は、ラベルをピリオド（"."）で区切って連結した文字列である。</p> <p>「ラベル」は、本技術細則により定められるASCIIラベルおよび日本語ラベルにより構成される。</p> <p>「ASCIIラベル」は、英字（"A"から"Z"）、数字（"0"から"9"）、ハイフン（"-"）からなる文字列である。ただし、ASCIIラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。ASCIIラベルの長さは、63文字以下でなければならない。ASCIIラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。</p> <p>「日本語ラベル」は、本技術細則により定められる日本語文字を1文字以上含む、日本語文字および英字（"A"から"Z"）、数字（"0"から"9"）、ハイフン（"-"）からなる文字列である。ただし、日本語ラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。日本語ラベルの長さは、15文字以下でなければならない。日本語ラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。</p> <p>「日本語文字」は、「JIS X 0208:1997 7ビット及び7ビットの2バイト情報交換用符号化漢字集合」（以下「JIS X 0208:1997」という）における符号表のうち、次にあげる文字により構成される。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 4区の文字（平仮名） (2) 5区の文字（片仮名） (3) 16区から84区の文字（漢字） (4) 1区のうち、次にあげる文字（中点、仮名又は漢字に準じるもの） 	<p>付録5 ABNFによる汎用JPドメイン名の定義</p> <p>0. はじめに</p> <p>本技術細則では、「汎用JPドメイン名登録等に関する規則」第3条第2項に基づいて、汎用JPドメイン名に関する技術上の要件を定める。</p> <p>1. 登録可能な汎用JPドメイン名の文字種別と文字列</p> <p>汎用JPドメイン名における文字種別と文字列を以下に規定する。</p> <p>「ドメイン名」は、ラベルをピリオド（"."）で区切って連結した文字列である。</p> <p>「ラベル」は、本技術細則により定められるASCIIラベルおよび日本語ラベルにより構成される。</p> <p>「ASCIIラベル」は、英字（"A"から"Z"）、数字（"0"から"9"）、ハイフン（"-"）からなる文字列である。ただし、ASCIIラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。ASCIIラベルの長さは、63文字以下でなければならない。ASCIIラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。</p> <p>「日本語ラベル」は、本技術細則により定められる日本語文字を1文字以上含む、日本語文字および英字（"A"から"Z"）、数字（"0"から"9"）、ハイフン（"-"）からなる文字列である。ただし、日本語ラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。日本語ラベルの長さは、15文字以下でなければならない。日本語ラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。</p> <p>「日本語文字」は、「JIS X 0208:1997 7ビット及び7ビットの2バイト情報交換用符号化漢字集合」（以下「JIS X 0208:1997」という）における符号表のうち、次にあげる文字により構成される。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 4区の文字（平仮名） (2) 5区の文字（片仮名） (3) 16区から84区の文字（漢字） (4) 1区のうち、次にあげる文字（中点、仮名又は漢字に準じるもの） 	<p>技術細則の内容に関する説明を追加</p>

汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（変更履歴付き）	汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考																																																																																																																														
<table border="0"> <thead> <tr> <th>区点</th> <th>UCS</th> <th>文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="3">-----</td></tr> <tr><td>1-6</td><td>30FB</td><td>・</td></tr> <tr><td>1-19</td><td>30FD</td><td>ヽ</td></tr> <tr><td>1-20</td><td>30FE</td><td>ヾ</td></tr> <tr><td>1-21</td><td>309D</td><td>ゝ</td></tr> <tr><td>1-22</td><td>309E</td><td>ゞ</td></tr> <tr><td>1-24</td><td>4EDD</td><td>全</td></tr> <tr><td>1-25</td><td>3005</td><td>々</td></tr> <tr><td>1-26</td><td>3006</td><td>ヅ</td></tr> <tr><td>1-27</td><td>3007</td><td>〇</td></tr> <tr><td>1-28</td><td>30FC</td><td>ー</td></tr> <tr><td colspan="3">-----</td></tr> </tbody> </table> <p>区点: JIS X 0208:1997における区点番号。</p> <p>UCS: The Unicode Standard, Version 3.2.0 (以下「Unicode」という) の符号表における文字位置を示す番号。</p> <p>「区切り文字」は、次にあげる文字により構成される。ラベルには、区切り文字は含まれない。</p> <p>(1) 「JIS X 0201:1997 7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合」(以下「JIS X 0201:1997」という)における区切り文字</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>8ビット符号 (16進数)</th> <th>UCS</th> <th>図形記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="3">-----</td></tr> <tr><td>10/1 (A1)</td><td>FF61</td><td>。</td></tr> <tr><td colspan="3">-----</td></tr> </tbody> </table> <p>8ビット符号: JIS X 0201:1997の8ビット符号表における位置。</p> <p>(2) JIS X 0208:1997における区切り文字</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>区点</th> <th>UCS</th> <th>文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="3">-----</td></tr> <tr><td>1-3</td><td>3002</td><td>。</td></tr> <tr><td>1-5</td><td>FF0E</td><td>.</td></tr> </tbody> </table>	区点	UCS	文字	-----			1-6	30FB	・	1-19	30FD	ヽ	1-20	30FE	ヾ	1-21	309D	ゝ	1-22	309E	ゞ	1-24	4EDD	全	1-25	3005	々	1-26	3006	ヅ	1-27	3007	〇	1-28	30FC	ー	-----			8ビット符号 (16進数)	UCS	図形記号	-----			10/1 (A1)	FF61	。	-----			区点	UCS	文字	-----			1-3	3002	。	1-5	FF0E	.	<table border="0"> <thead> <tr> <th>区点</th> <th>UCS</th> <th>文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="3">-----</td></tr> <tr><td>1-6</td><td>30FB</td><td>・</td></tr> <tr><td>1-19</td><td>30FD</td><td>ヽ</td></tr> <tr><td>1-20</td><td>30FE</td><td>ヾ</td></tr> <tr><td>1-21</td><td>309D</td><td>ゝ</td></tr> <tr><td>1-22</td><td>309E</td><td>ゞ</td></tr> <tr><td>1-24</td><td>4EDD</td><td>全</td></tr> <tr><td>1-25</td><td>3005</td><td>々</td></tr> <tr><td>1-26</td><td>3006</td><td>ヅ</td></tr> <tr><td>1-27</td><td>3007</td><td>〇</td></tr> <tr><td>1-28</td><td>30FC</td><td>ー</td></tr> <tr><td colspan="3">-----</td></tr> </tbody> </table> <p>区点: JIS X 0208:1997における区点番号。</p> <p>UCS: The Unicode Standard, Version 3.2.0 (以下「Unicode」という) の符号表における文字位置を示す番号。</p> <p>「区切り文字」は、次にあげる文字により構成される。ラベルには、区切り文字は含まれない。</p> <p>(1) 「JIS X 0201:1997 7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合」(以下「JIS X 0201:1997」という)における区切り文字</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>8ビット符号 (16進数)</th> <th>UCS</th> <th>図形記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="3">-----</td></tr> <tr><td>10/1 (A1)</td><td>FF61</td><td>。</td></tr> <tr><td colspan="3">-----</td></tr> </tbody> </table> <p>8ビット符号: JIS X 0201:1997の8ビット符号表における位置。</p> <p>(2) JIS X 0208:1997における区切り文字</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>区点</th> <th>UCS</th> <th>文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="3">-----</td></tr> <tr><td>1-3</td><td>3002</td><td>。</td></tr> <tr><td>1-5</td><td>FF0E</td><td>.</td></tr> </tbody> </table>	区点	UCS	文字	-----			1-6	30FB	・	1-19	30FD	ヽ	1-20	30FE	ヾ	1-21	309D	ゝ	1-22	309E	ゞ	1-24	4EDD	全	1-25	3005	々	1-26	3006	ヅ	1-27	3007	〇	1-28	30FC	ー	-----			8ビット符号 (16進数)	UCS	図形記号	-----			10/1 (A1)	FF61	。	-----			区点	UCS	文字	-----			1-3	3002	。	1-5	FF0E	.	
区点	UCS	文字																																																																																																																														

1-6	30FB	・																																																																																																																														
1-19	30FD	ヽ																																																																																																																														
1-20	30FE	ヾ																																																																																																																														
1-21	309D	ゝ																																																																																																																														
1-22	309E	ゞ																																																																																																																														
1-24	4EDD	全																																																																																																																														
1-25	3005	々																																																																																																																														
1-26	3006	ヅ																																																																																																																														
1-27	3007	〇																																																																																																																														
1-28	30FC	ー																																																																																																																														

8ビット符号 (16進数)	UCS	図形記号																																																																																																																														

10/1 (A1)	FF61	。																																																																																																																														

区点	UCS	文字																																																																																																																														

1-3	3002	。																																																																																																																														
1-5	FF0E	.																																																																																																																														
区点	UCS	文字																																																																																																																														

1-6	30FB	・																																																																																																																														
1-19	30FD	ヽ																																																																																																																														
1-20	30FE	ヾ																																																																																																																														
1-21	309D	ゝ																																																																																																																														
1-22	309E	ゞ																																																																																																																														
1-24	4EDD	全																																																																																																																														
1-25	3005	々																																																																																																																														
1-26	3006	ヅ																																																																																																																														
1-27	3007	〇																																																																																																																														
1-28	30FC	ー																																																																																																																														

8ビット符号 (16進数)	UCS	図形記号																																																																																																																														

10/1 (A1)	FF61	。																																																																																																																														

区点	UCS	文字																																																																																																																														

1-3	3002	。																																																																																																																														
1-5	FF0E	.																																																																																																																														

汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（変更履歴付き）	汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
<p>-----</p> <p>ドメイン名を構成する最も右側のラベルを「トップレベルドメイン名」と呼び、以下左へ順に「第2レベルドメイン名」、「第3レベルドメイン名」、...と呼ぶ。</p> <p>「ネームサーバホスト名」は、ネームサーバ設定の際に指定されるドメインネームサーバ（以下「ネームサーバ」という）の名称である。ネームサーバホスト名は、3つ以上のラベルをピリオド（"."）で区切って連結した文字列である。</p> <p>2. 汎用JPドメイン名の構成</p> <p>汎用JPドメイン名の構成は、次の通りである。</p> <p style="text-align: center;">〈ラベル〉. JP</p> <p>「ASCIIドメイン名」は、汎用JPドメイン名のうち、〈ラベル〉がASCIIラベルであるドメイン名である。ASCIIドメイン名の〈ラベル〉は、3文字以上でなければならない。</p> <p>「日本語ドメイン名」は、汎用JPドメイン名のうち、〈ラベル〉が日本語ラベルであるドメイン名である。日本語ドメイン名の〈ラベル〉は、1文字以上でなければならない。</p> <p>3. 申請文字列の正規化</p> <p>「申請文字列」は、株式会社日本レジストリサービス（以下「当社」という）への登録申請の際に、ドメイン名およびネームサーバホスト名として指定される文字列である。</p> <p>申請文字列には本技術細則により定められる互換用文字を含んでよい（付録1「互換用文字」を参照）。</p> <p>「正規化」は、申請文字列によって構成された各文字を、後述の手順に従って変換することである。</p> <p>正規化は、ピリオド（"."）または区切り文字で分割した文字列単位で行う。ラベルは正規化後の文字列である。ラベルの連結はピリオド（"."）で行う。</p>	<p>-----</p> <p>ドメイン名を構成する最も右側のラベルを「トップレベルドメイン名」と呼び、以下左へ順に「第2レベルドメイン名」、「第3レベルドメイン名」、...と呼ぶ。</p> <p>「ネームサーバホスト名」は、ネームサーバ設定の際に指定されるドメインネームサーバ（以下「ネームサーバ」という）の名称である。ネームサーバホスト名は、3つ以上のラベルをピリオド（"."）で区切って連結した文字列である。</p> <p>2. 汎用JPドメイン名の構成</p> <p>汎用JPドメイン名の構成は、次の通りである。</p> <p style="text-align: center;">〈ラベル〉. JP</p> <p>「ASCIIドメイン名」は、汎用JPドメイン名のうち、〈ラベル〉がASCIIラベルであるドメイン名である。ASCIIドメイン名の〈ラベル〉は、3文字以上でなければならない。</p> <p>「日本語ドメイン名」は、汎用JPドメイン名のうち、〈ラベル〉が日本語ラベルであるドメイン名である。日本語ドメイン名の〈ラベル〉は、1文字以上でなければならない。</p> <p>3. 申請文字列の正規化</p> <p>「申請文字列」は、株式会社日本レジストリサービス（以下「当社」という）への登録申請の際に、ドメイン名およびネームサーバホスト名として指定される文字列である。</p> <p>申請文字列には本技術細則により定められる互換用文字を含んでよい（付録1「互換用文字」を参照）。</p> <p>「正規化」は、申請文字列によって構成された各文字を、後述の手順に従って変換することである。</p> <p>正規化は、ピリオド（"."）または区切り文字で分割した文字列単位で行う。ラベルは正規化後の文字列である。ラベルの連結はピリオド（"."）で行う。</p>	

汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（変更履歴付き）	汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考												
<p>汎用JPドメイン名における正規化は、以下の手順により行う。</p> <p>(1) 付録2「正規化における文字置換の方式」により定められる方式 (2) 付録3「正規化における文字合成の方式」により定められる方式</p> <p>当社が登録するドメイン名およびネームサーバホスト名は、正規化後の文字列を使用する。正規化後の文字列に日本語文字が1文字も含まれないラベルは、ASCIIラベルとして取り扱う。</p> <p>4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング</p> <p>ネームサーバ設定の際に、対象となるドメイン名およびネームサーバホスト名に日本語ラベルが含まれている場合、本技術細則「3. 申請文字列の正規化」に規定する方式により正規化を行う。その正規化した日本語ラベルをUnicodeに変換し、RFC5891で定義される以下の手順によりエンコーディングした文字列と置き換える。</p> <p>(1) RFC3492で定義されるアルゴリズムによりエンコーディングを行う (2) RFC5890で定義されるプレフィックスを前置する</p> <p>JIS X 0208:1997からUnicodeへの変換の際の対応表として、付録4「日本語文字一覧」により示される対応表を使用する。</p> <p>5. 汎用JPドメイン名に設定可能な署名鍵の形式</p> <p>「署名鍵」は、DNSのリソースレコードであるDSレコードのRDATA部である下記の(1)から(4)の4要素（RFC4034参照）の値を空白文字にて連結した文字列である。登録原簿には、その署名鍵の形式で記載する。</p> <p>(1) 鍵タグ 対応するDNSKEYレコードから生成した整数値</p> <p>(2) アルゴリズム 対応するDNSKEYレコードのアルゴリズムを示す下記の整数値のいずれか</p> <table border="1" data-bbox="341 1801 905 1927"> <thead> <tr> <th>整数値</th> <th>アルゴリズム</th> <th>参照RFC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>DSA</td> <td>RFC4034</td> </tr> </tbody> </table>	整数値	アルゴリズム	参照RFC	3	DSA	RFC4034	<p>汎用JPドメイン名における正規化は、以下の手順により行う。</p> <p>(1) 付録2「正規化における文字置換の方式」により定められる方式 (2) 付録3「正規化における文字合成の方式」により定められる方式</p> <p>当社が登録するドメイン名およびネームサーバホスト名は、正規化後の文字列を使用する。正規化後の文字列に日本語文字が1文字も含まれないラベルは、ASCIIラベルとして取り扱う。</p> <p>4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング</p> <p>ネームサーバ設定の際に、対象となるドメイン名およびネームサーバホスト名に日本語ラベルが含まれている場合、本技術細則「3. 申請文字列の正規化」に規定する方式により正規化を行う。その正規化した日本語ラベルをUnicodeに変換し、RFC5891で定義される以下の手順によりエンコーディングした文字列と置き換える。</p> <p>(1) RFC3492で定義されるアルゴリズムによりエンコーディングを行う (2) RFC5890で定義されるプレフィックスを前置する</p> <p>JIS X 0208:1997からUnicodeへの変換の際の対応表として、付録4「日本語文字一覧」により示される対応表を使用する。</p> <p>5. 汎用JPドメイン名に設定可能な署名鍵の形式</p> <p>「署名鍵」は、DNSのリソースレコードであるDSレコードのRDATA部である下記の(1)から(4)の4要素（RFC4034参照）の値を空白文字にて連結した文字列である。登録原簿には、その署名鍵の形式で記載する。</p> <p>(1) 鍵タグ 対応するDNSKEYレコードから生成した整数値</p> <p>(2) アルゴリズム 対応するDNSKEYレコードのアルゴリズムを示す下記の整数値のいずれか</p> <table border="1" data-bbox="1478 1801 2041 1927"> <thead> <tr> <th>整数値</th> <th>アルゴリズム</th> <th>参照RFC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>DSA</td> <td>RFC4034</td> </tr> </tbody> </table>	整数値	アルゴリズム	参照RFC	3	DSA	RFC4034	
整数値	アルゴリズム	参照RFC												
3	DSA	RFC4034												
整数値	アルゴリズム	参照RFC												
3	DSA	RFC4034												

汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（変更履歴付き）	汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考																																																						
<table border="0"> <tr><td>5</td><td>RSASHA1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>6</td><td>DSA-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>7</td><td>RSASHA1-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>8</td><td>RSASHA256</td><td>RFC5702</td></tr> <tr><td>10</td><td>RSASHA512</td><td>RFC5702</td></tr> <tr><td><u>13</u></td><td><u>ECDSAP256SHA256</u></td><td><u>RFC6605</u></td></tr> <tr><td><u>14</u></td><td><u>ECDSAP384SHA384</u></td><td><u>RFC6605</u></td></tr> <tr><td><u>15</u></td><td><u>ED25519</u></td><td><u>RFC8080</u></td></tr> <tr><td><u>16</u></td><td><u>ED448</u></td><td><u>RFC8080</u></td></tr> </table>	5	RSASHA1	RFC4034	6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155	7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155	8	RSASHA256	RFC5702	10	RSASHA512	RFC5702	<u>13</u>	<u>ECDSAP256SHA256</u>	<u>RFC6605</u>	<u>14</u>	<u>ECDSAP384SHA384</u>	<u>RFC6605</u>	<u>15</u>	<u>ED25519</u>	<u>RFC8080</u>	<u>16</u>	<u>ED448</u>	<u>RFC8080</u>	<table border="0"> <tr><td>5</td><td>RSASHA1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>6</td><td>DSA-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>7</td><td>RSASHA1-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>8</td><td>RSASHA256</td><td>RFC5702</td></tr> <tr><td>10</td><td>RSASHA512</td><td>RFC5702</td></tr> <tr><td>13</td><td>ECDSAP256SHA256</td><td>RFC6605</td></tr> <tr><td>14</td><td>ECDSAP384SHA384</td><td>RFC6605</td></tr> <tr><td>15</td><td>ED25519</td><td>RFC8080</td></tr> <tr><td>16</td><td>ED448</td><td>RFC8080</td></tr> </table>	5	RSASHA1	RFC4034	6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155	7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155	8	RSASHA256	RFC5702	10	RSASHA512	RFC5702	13	ECDSAP256SHA256	RFC6605	14	ECDSAP384SHA384	RFC6605	15	ED25519	RFC8080	16	ED448	RFC8080	<p>アルゴリズム13～16を追加</p>
5	RSASHA1	RFC4034																																																						
6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155																																																						
7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155																																																						
8	RSASHA256	RFC5702																																																						
10	RSASHA512	RFC5702																																																						
<u>13</u>	<u>ECDSAP256SHA256</u>	<u>RFC6605</u>																																																						
<u>14</u>	<u>ECDSAP384SHA384</u>	<u>RFC6605</u>																																																						
<u>15</u>	<u>ED25519</u>	<u>RFC8080</u>																																																						
<u>16</u>	<u>ED448</u>	<u>RFC8080</u>																																																						
5	RSASHA1	RFC4034																																																						
6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155																																																						
7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155																																																						
8	RSASHA256	RFC5702																																																						
10	RSASHA512	RFC5702																																																						
13	ECDSAP256SHA256	RFC6605																																																						
14	ECDSAP384SHA384	RFC6605																																																						
15	ED25519	RFC8080																																																						
16	ED448	RFC8080																																																						
<p>(3) ダイジェストタイプ ダイジェストタイプを示す下記の整数値のいずれか</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>整数値</th> <th>ダイジェストタイプ</th> <th>参照RFC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>SHA-1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>2</td><td>SHA-256</td><td>RFC4509</td></tr> <tr><td><u>4</u></td><td><u>SHA-384</u></td><td><u>RFC6605</u></td></tr> </tbody> </table>	整数値	ダイジェストタイプ	参照RFC	1	SHA-1	RFC4034	2	SHA-256	RFC4509	<u>4</u>	<u>SHA-384</u>	<u>RFC6605</u>	<p>(3) ダイジェストタイプ ダイジェストタイプを示す下記の整数値のいずれか</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>整数値</th> <th>ダイジェストタイプ</th> <th>参照RFC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>SHA-1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>2</td><td>SHA-256</td><td>RFC4509</td></tr> <tr><td>4</td><td>SHA-384</td><td>RFC6605</td></tr> </tbody> </table>	整数値	ダイジェストタイプ	参照RFC	1	SHA-1	RFC4034	2	SHA-256	RFC4509	4	SHA-384	RFC6605	<p>ダイジェストタイプ4を追加</p>																														
整数値	ダイジェストタイプ	参照RFC																																																						
1	SHA-1	RFC4034																																																						
2	SHA-256	RFC4509																																																						
<u>4</u>	<u>SHA-384</u>	<u>RFC6605</u>																																																						
整数値	ダイジェストタイプ	参照RFC																																																						
1	SHA-1	RFC4034																																																						
2	SHA-256	RFC4509																																																						
4	SHA-384	RFC6605																																																						
<p>(4) ダイジェスト 対応するDNSKEYレコードのメッセージダイジェストを16進数で表した文字列</p>	<p>(4) ダイジェスト 対応するDNSKEYレコードのメッセージダイジェストを16進数で表した文字列</p>																																																							
<p>6. 制限事項</p> <p>6.1 ネームサーバホスト名における制限事項</p> <p>ネームサーバホスト名のトップレベルドメイン名が“JP”の場合、そのネームサーバホスト名は、登録原簿に記載されている属性型（組織種別型）・地域型JPドメイン名、汎用JPドメイン名もしくは都道府県型JPドメイン名に含まれるものでなければならない。 当社は、この制限事項に反するネームサーバホスト名を登録原簿から抹消することができる。</p> <p>ネームサーバホスト名には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) “*--”（“*”は任意の1文字）で始まるラベル</p>	<p>6. 制限事項</p> <p>6.1 ネームサーバホスト名における制限事項</p> <p>ネームサーバホスト名のトップレベルドメイン名が“JP”の場合、そのネームサーバホスト名は、登録原簿に記載されている属性型（組織種別型）・地域型JPドメイン名、汎用JPドメイン名もしくは都道府県型JPドメイン名に含まれるものでなければならない。 当社は、この制限事項に反するネームサーバホスト名を登録原簿から抹消することができる。</p> <p>ネームサーバホスト名には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) “*--”（“*”は任意の1文字）で始まるラベル</p>																																																							

汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（変更履歴付き）	汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
<p>6.2 電子メールアドレスにおける制限事項</p> <p>登録者または公開連絡窓口などの申請情報として登録される電子メールアドレスのドメイン名部分（電子メールアドレスにおける“@”の右側）には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) “**--”（“*”は任意の1文字）で始まるラベル</p> <p>(2) 日本語ラベル</p> <p>6.3 URIにおける制限事項</p> <p>登録者または公開連絡窓口などの申請情報として登録されるURIのホスト名部分には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) “**--”（“*”は任意の1文字）で始まるラベル</p> <p>6.4 署名鍵における制限事項</p> <p>汎用JPドメイン名に設定された署名鍵がセキュリティやその他の問題を引き起こす可能性があるとして当社が判断した場合、当社は署名鍵を登録原簿から抹消することができる。</p> <p>7. 予約ドメイン名</p> <p>当社は、特定の汎用JPドメイン名を、すべての組織が登録できないドメイン名として、ないしは特定の組織を除いて登録できないドメイン名として指定する必要がある。これを予約ドメイン名と呼ぶ。この指定および指定解除、その他の詳細は指定の都度定める。</p> <p>=====</p> <p>変更履歴（2002年4月1日版→2003年3月20日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際化ドメイン名関連のRFC発行に伴う改訂 ・ネームサーバホスト名に日本語JPドメイン名を利用可能とするための改訂 <p>変更履歴（2003年3月20日版→2003年7月10日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JIS規格・RFC・その他の規格書にあわせた用語および表現の変更 	<p>6.2 電子メールアドレスにおける制限事項</p> <p>登録者または公開連絡窓口などの申請情報として登録される電子メールアドレスのドメイン名部分（電子メールアドレスにおける“@”の右側）には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) “**--”（“*”は任意の1文字）で始まるラベル</p> <p>(2) 日本語ラベル</p> <p>6.3 URIにおける制限事項</p> <p>登録者または公開連絡窓口などの申請情報として登録されるURIのホスト名部分には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) “**--”（“*”は任意の1文字）で始まるラベル</p> <p>6.4 署名鍵における制限事項</p> <p>汎用JPドメイン名に設定された署名鍵がセキュリティやその他の問題を引き起こす可能性があるとして当社が判断した場合、当社は署名鍵を登録原簿から抹消することができる。</p> <p>7. 予約ドメイン名</p> <p>当社は、特定の汎用JPドメイン名を、すべての組織が登録できないドメイン名として、ないしは特定の組織を除いて登録できないドメイン名として指定する必要がある。これを予約ドメイン名と呼ぶ。この指定および指定解除、その他の詳細は指定の都度定める。</p> <p>=====</p> <p>変更履歴（2002年4月1日版→2003年3月20日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際化ドメイン名関連のRFC発行に伴う改訂 ・ネームサーバホスト名に日本語JPドメイン名を利用可能とするための改訂 <p>変更履歴（2003年3月20日版→2003年7月10日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JIS規格・RFC・その他の規格書にあわせた用語および表現の変更 	

汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（変更履歴付き）	汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・ JIS X 0208規格のリファレンスをJIS X 0208-1990から最新のJIS規格であるJIS X 0208:1997に更新。これによる字形の入れ替え等、Unicodeとのマッピングによる影響はない。 ・ 属性型・地域型JPドメイン名技術細則の用語・表現との整合 ・ 日本語ラベルとして登録可能な文字の追加 「ㇿ」「仝」「厶」「〇（漢数字ゼロ）」 ・ ラベルを正規化後の文字列に限定し、定義をより厳密化。これにより本技術細則でのラベルの定義は、RFC3490における定義とは異なる ・ 正規化の手順をより明確に記述 ・ 日本語ドメイン名のエンコーディング方式決定に伴い、制限事項からサフィックスに関連する次のものを削除 "--**"（"*"は任意の1文字）で終わる文字列 "-8q9" で終わる文字列 ・ 付録の番号を技術細則中の参照順に修正 ・ ABNFによる汎用JPドメイン名の定義を付録へ新規に追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JIS X 0208規格のリファレンスをJIS X 0208-1990から最新のJIS規格であるJIS X 0208:1997に更新。これによる字形の入れ替え等、Unicodeとのマッピングによる影響はない。 ・ 属性型・地域型JPドメイン名技術細則の用語・表現との整合 ・ 日本語ラベルとして登録可能な文字の追加 「ㇿ」「仝」「厶」「〇（漢数字ゼロ）」 ・ ラベルを正規化後の文字列に限定し、定義をより厳密化。これにより本技術細則でのラベルの定義は、RFC3490における定義とは異なる ・ 正規化の手順をより明確に記述 ・ 日本語ドメイン名のエンコーディング方式決定に伴い、制限事項からサフィックスに関連する次のものを削除 "--**"（"*"は任意の1文字）で終わる文字列 "-8q9" で終わる文字列 ・ 付録の番号を技術細則中の参照順に修正 ・ ABNFによる汎用JPドメイン名の定義を付録へ新規に追加 	
<p>変更履歴（2003年7月10日版→2004年10月18日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者または公開連絡窓口などの申請情報のうち、URIに日本語ラベルを利用可能とするための改訂 	<p>変更履歴（2003年7月10日版→2004年10月18日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者または公開連絡窓口などの申請情報のうち、URIに日本語ラベルを利用可能とするための改訂 	
<p>変更履歴（2004年10月18日版→2005年8月30日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語ラベルとして登録可能な文字から、「ㇿ」（区点:1-23、UCS:3003）を削除 	<p>変更履歴（2004年10月18日版→2005年8月30日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語ラベルとして登録可能な文字から、「ㇿ」（区点:1-23、UCS:3003）を削除 	
<p>変更履歴（2005年8月30日版→2006年1月10日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「5.1 ネームサーバホスト名における制限事項」にネームサーバホスト名のトップレベルドメイン名が"JP"の場合の制限事項を追加 	<p>変更履歴（2005年8月30日版→2006年1月10日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「5.1 ネームサーバホスト名における制限事項」にネームサーバホスト名のトップレベルドメイン名が"JP"の場合の制限事項を追加 	
<p>変更履歴（2006年1月10日版→2010年8月15日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語ラベルのエンコーディング手順のリファレンスをRFC3490からRFC5890およびRFC5891に更新 ・ 日本語ラベルの正規化エンコーディング手順のリファレンスをRFC3491から本技術細則「3. 申請文字列の正規化」に規定する方式に更新 	<p>変更履歴（2006年1月10日版→2010年8月15日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語ラベルのエンコーディング手順のリファレンスをRFC3490からRFC5890およびRFC5891に更新 ・ 日本語ラベルの正規化エンコーディング手順のリファレンスをRFC3491から本技術細則「3. 申請文字列の正規化」に規定する方式に更新 	
<p>変更履歴（2010年8月15日版→2011年1月16日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汎用JPドメイン名に設定可能な署名鍵の形式を定義 ・ 署名鍵における制限事項を追加 	<p>変更履歴（2010年8月15日版→2011年1月16日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汎用JPドメイン名に設定可能な署名鍵の形式を定義 ・ 署名鍵における制限事項を追加 	
<p>変更履歴（2011年1月16日版→2012年7月16日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「6.1 ネームサーバホスト名における制限事項」の対象に都道府県型JPドメ 	<p>変更履歴（2011年1月16日版→2012年7月16日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「6.1 ネームサーバホスト名における制限事項」の対象に都道府県型JPドメ 	

汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（変更履歴付き）	汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
<p>イン名を追加</p> <p>変更履歴（2012年7月16日版→2013年11月12日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「6.1 ネームサーバホスト名における制限事項」「6.2 電子メールアドレスにおける制限事項」「6.3 URIにおける制限事項」の変更 <p><u>変更履歴（2013年11月12日版→2019年9月19日版への変更）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>技術細則の内容に関する説明を追加</u> ・<u>汎用JPドメイン名に設定可能な署名鍵のアルゴリズムとダイジェストタイプを追加</u> 	<p>イン名を追加</p> <p>変更履歴（2012年7月16日版→2013年11月12日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「6.1 ネームサーバホスト名における制限事項」「6.2 電子メールアドレスにおける制限事項」「6.3 URIにおける制限事項」の変更 <p>変更履歴（2013年11月12日版→2019年9月19日版への変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術細則の内容に関する説明を追加 ・汎用JPドメイン名に設定可能な署名鍵のアルゴリズムとダイジェストタイプを追加 	<p>変更履歴を追加</p>